

社会保険労務士のむら事務所通信

2018春号
 発行人：野村祐輔
 2018年5月1日発行
 第8号

少子化なのに子供が親の愛情を受けられない社会って？

人は、生まれてからの3年が、最も急成長する時期であります。生まれてからの3年の間で、いろいろなことが出来るようになります。自分で歩けるようになり、言葉を理解し、意志を伝えられるようになります。そして人格の基盤が形成されるのが、3歳までだといわれています。年配の方や両親から”三歳までは外に預けずに、ママがしっかり側にいてあげなさい”とアドバイスを受けた経験がある方も多いのではないのでしょうか？

米ミネソタ大学でも、長年にわたり母親とその子ども達を誕生から小学1年までを追跡調査し、その結果、癩癩(かんしゃく)を起こす子や攻撃的な子、反抗的な幼稚園児はごく早い時期に母親が育児に消極的だった事が関係していることが判明しています。

ひるがえって、今の働き方改革です。定年を過ぎた方や、子供を抱えた母親にも労働のチャンスをも、という働き方改革の柱で、人口減少社会を支えていくためには、労働者人口を増やすことがとても大事なのです。

昔から働いてる母親は決して少なくはありませんでした。しかし現在は比較にならない程増加しています。単に家計の助けになるから働くと言うだけの理由だけではなく、女性が一人の人間としての自立や可能性を求める生き方を社会が認めていく形に社会が変化しているのです。

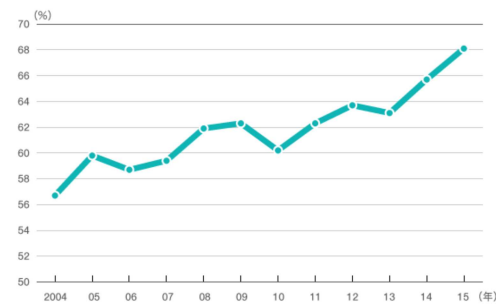
しかしその中で落とし穴はないのでしょうか？犠牲にされている部分はないのでしょうか？

最近の若者にはメンタルヘルスに障害のある方が増えてきています。厚生労働省が全国の医療機関に対して3年ごとに実施している「患者調査」によると、気分障害患者(うつ病など)数はここ12年間で2・4倍に増加し、2008年には104万1000人にも達しています。うつ病患者の医療機関への受診率は低いことが分かっており、実際にはもっと多くの患者がいると推測されています。

もうすでに、子供を幼児期に十分な愛情を注げなかった、その弊害が出ているのかもしれない。

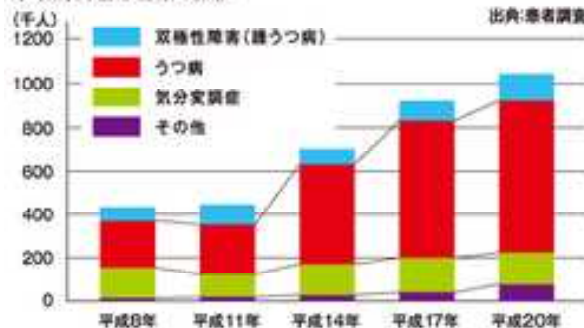
良い政策であっても、その裏側には必ず”ひずみ”はでてくるものです。何も働き方改革を否定するわけではありません。豊かな将来を創るため、働き方改革の中から波及するであろう”ひずみ”をいち早く理解して、その対応を考えていかなければ、豊かな未来は訪れないと思います。

18歳未満の子を持つ母親における「仕事あり」の割合の変化



「国民生活基礎調査」(2004～2015年)より作成

◆気分障害患者数の推移



5月から雇用保険手続きにはマイナンバーが必要になりました

平成28年1月より利用が開始されたマイナンバーですが、平成30年3月5日から、事業所における社会保険手続きにおいて記載が求められるようになりました。また、これまでマイナンバーの記載がなくても受理されていた雇用保険関係については、5月からはマイナンバーが必要な届出に記載・添付がない場合は、ハローワークより返戻され再提出を求められますので注意が必要です。

◆マイナンバーが必要な届出等

【マイナンバーの記載が必要な届出等】

- (1) 雇用保険被保険者資格取得届
- (2) 雇用保険被保険者資格喪失届
- (3) 高齢雇用継続給付支給申請(初回)
- (4) 育児休業給付支給申請(初回)
- (5) 介護休業給付支給申請

【個人番号登録・変更届の添付が必要な届出等

(ハローワークにマイナンバーが未届の者に係る届出等である場合)】

- (6) 雇用保険被保険者転勤届
- (7) 雇用継続交流採用終了届
- (8) 高齢雇用継続給付支給申請(2回目以降)
- (9) 育児休業給付支給申請(2回目以降)

算定・年度更新の時期がもうすぐです

今年も社会保険算定基礎届提出・労働保険年度更新の時期がやってきました。それぞれの今年の期限は、7月10日(火)迄となっています。

年1回とはいえ、忙しい業務のさなか、期限までに申告書や届出を作成・提出するのってかなり大変です。面倒でわかりにくい作業は、社会保険・労働保険のプロ、社会保険労務士に丸ごとおまかせください。資料さえそろってれば、全くの丸投げで大丈夫！



つぶやき

私の住む久喜市に新市長が誕生いたしました。私もかねてから新市長とは親交があり、とても嬉しく思います。彼のいいところは決して奢らず、シングルマザーや障害者などの社会的弱者に対して優しいこと。いつまでも弱者の視線を持ち続けてもらいたいものです。そんな彼に賛同し、私も今回は少しだけ選挙活動に携わらせていただきました。活動の中で市内を巡っていると、今まで知らなかった久喜市の顔がたくさん見えてきました。市内にある5つの駅にはそれぞれに特徴がありますが、どの駅にも言えているのは駅周辺の空洞化、シャッターを降ろしたお店がいくつもあります。一方、都会に向かう人の表情と市内で仕事をされている方の人の表情の違いも気になりました。豊かな田園風景と新興住宅街があり、お買い物に賑わう町。久喜市民から愛される久喜市であって欲しい！こんな私でも地元藍が芽生えましたよ！！